

〈隷書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

壽如金石佳辰好人
與梅蒼淡結鄰

井之上 南岳 先生書

〈行書〉

吉田 成美 先生書

壽如金石佳辰好人
與梅花淡結鄰

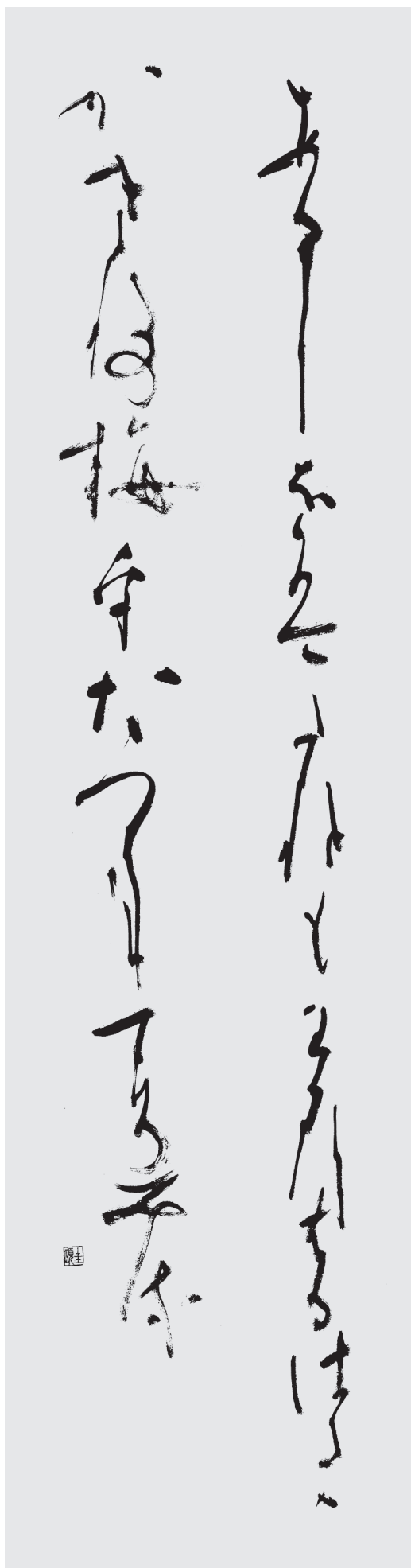
□ 壽は金石の如く佳辰好く、人は梅花と淡に隣と結ぶ。（曹秉鈞）

寿の長きことを金石の様に佳節に逢うて好く、人は梅の花と塵の外なる縁を結んで相親しんでいる。

次号予告「竹陰覆几琴書潤 花氣薰窓筆硯香」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ あるしを盤^は 多^たれとも王^わ可^か須^す 者^はるは多^た、 かきねの梅^を乎^を たつ年^ねてそみ流^る
あるじをば 誰ともわからず 春はただ 垣根の梅を たづねてぞ見る

△新古今和歌集 四二▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

清原大龍先生臨

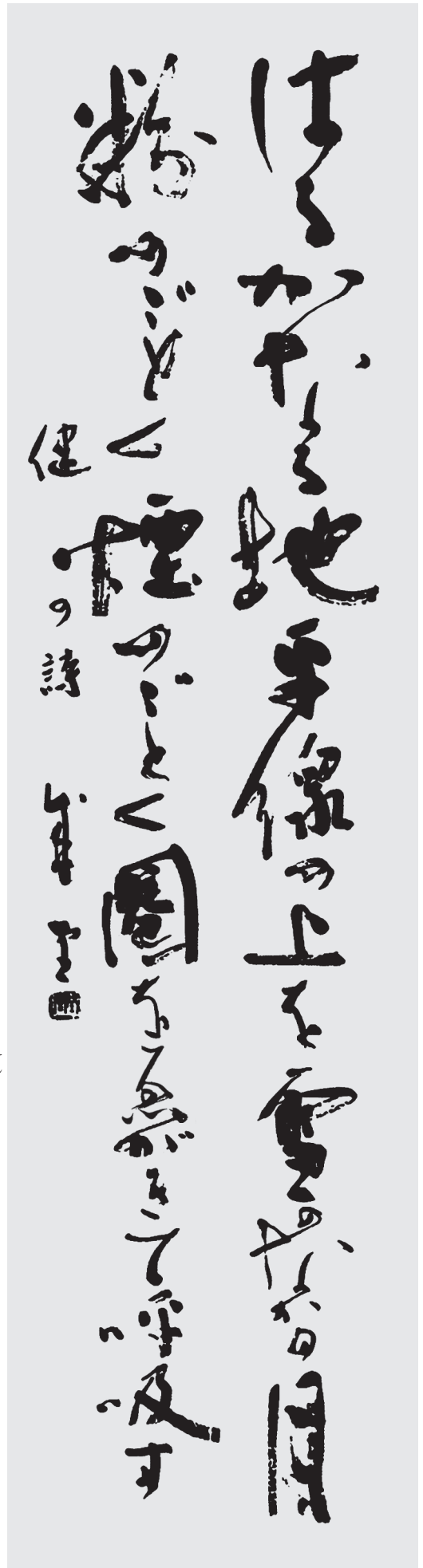


▽鄭長猷造像記

爲亡児士龍

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□雪の上（抄） 柳沢健の詩 はるかなる地平線の上を雪のなかの月、粉のごとく煙のごとく、^{けん}圈をめぐりて呼吸す。

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ 縦のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



山本飛雲先生書

□春の雲

人に行方^{ゆくへ}を 聴くごとし

飯田龍太の句

雲が人に「私はどこへ行くんでしょ
うね」と尋ねているようだ、という
のどかで明るい春の雲の風情を詠ん
だ句。

《手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横 $\frac{1}{2}$ に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ ）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 瑞気梅花満つ
めでたい気が梅花にみち溢れる。

瑞気梅花満つ

半
美
書
成



次号予告「花開酒國春」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)



□ 瑞気梅花満つ
めでたい気が梅花にみち溢れる。

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります。



□ 光風動春

光風春を動かす (温日升)

雨後の晴天に吹く心地よき風が春を生ずる意。心の高明寛大な事などに比している語。

秋 永 春 霞 先 生 書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽ 鄭長猷造像記



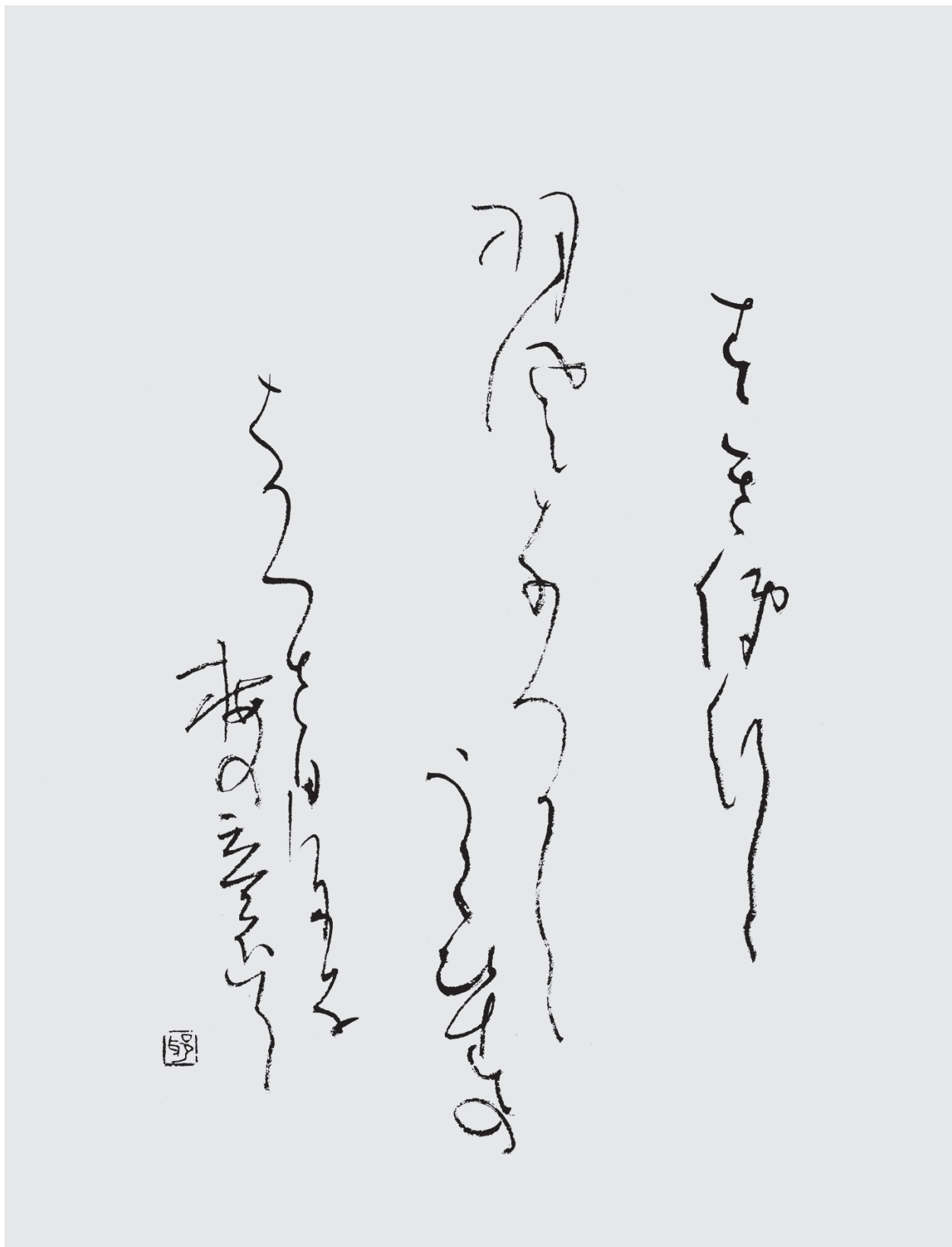
△ 臨書▽ 形臨・意臨・背臨など、いろいろと挑戦してみましょう。

「鄭長」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△ 仮 名 △
春ぎ傳行く 羽風なつかし うぐひ春の なつさ日介りな 梅の立え耳 (山家集 九九四)



すぎて行く 羽風なつかし 鶯の なづさひけりな 梅の立枝に

小 山 やす子 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△手紙文▽

上野で顔真卿展が開催されています 彼が創り出した特異な筆法は 現代の生活の書にも影響を
与え生き続けています 波乱に満ちた生涯をたどりながら じっくり鑑賞しましょう 有香

上野で顔真卿展が開催されています
彼が創り出した特異な筆法は現代の
生活の書にも影響を与え生き続けて
います波乱に満ちた生涯をたどりながら
じっくり鑑賞しましょう
有香

大 坪 桂 子 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

△暮らしに役立つ書▽

書譜

このたびは、ご温まるお手紙とお品をお贈り
くださいます。本当に有難うございました。
いただいたお品は、美味しく頂かさせて頂いた。
お陰さまでこちら全員、毎日を楽しんでいます。
ありがとうございます。近くにおいでの際は、是非とも
お立ち寄りください。
来筆ながら皆様の健康とご多幸をお祈り
申し上げます。
お返し書中をもちまして御礼申し上げます。

野のある便箋に書いてみよう。

△ 26 cm × 18 cm ▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

一般硬筆部参考手本＜B＞ — 2月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

	い文化を継承していきたいものです。	な成長を祈るという日本の素晴らし	節句に多くの人が集い、子供の健やか	集う機会が少なくなりました。離れの	核家族化が進み、家族、親戚が一同に
段 級					
氏 名					

吉 田 成 美 先 生 書



一般の方も是非チャレンジしてください。

13

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

流れる星

小学4年

美しい心

小学3年

せつぶん

小学2年

ゆめ

ようねん・小学1年

花鳥風月

中学2・3年

大切な仲間

中学1年

親愛なる友

小学6年

進む勇氣

小学5年

坂元紫香先生書

△条幅¼Ⅱ四尺画仙紙半折¼：68cm×17・5cm▽

□ 筆は軽く握って、腕全体で伸びやかに書きましょう。だく点は、ていねいに。



小学 二年

次号予告「三」

□「ゆ」「も」「め」も二画目は、一画目より高い位置から書き始めましょう。



ようねん・小学一年

次号予告「むら」

坂 元 紫 香 先 生 書

□ 字形をや、縦長に保ち、行の中心や文字の空間に気をつけ、明るく伸びやかに書こう。



小学 四年

次号予告「平和」

□ 平仮名は懐を広くし、漢字は点画の筆使い（ハライ、ソリ、ハネ）に気をつけて書こう。



小学 三年

次号予告「左右」

吉 田 成 美 先 生 書

小学 五年

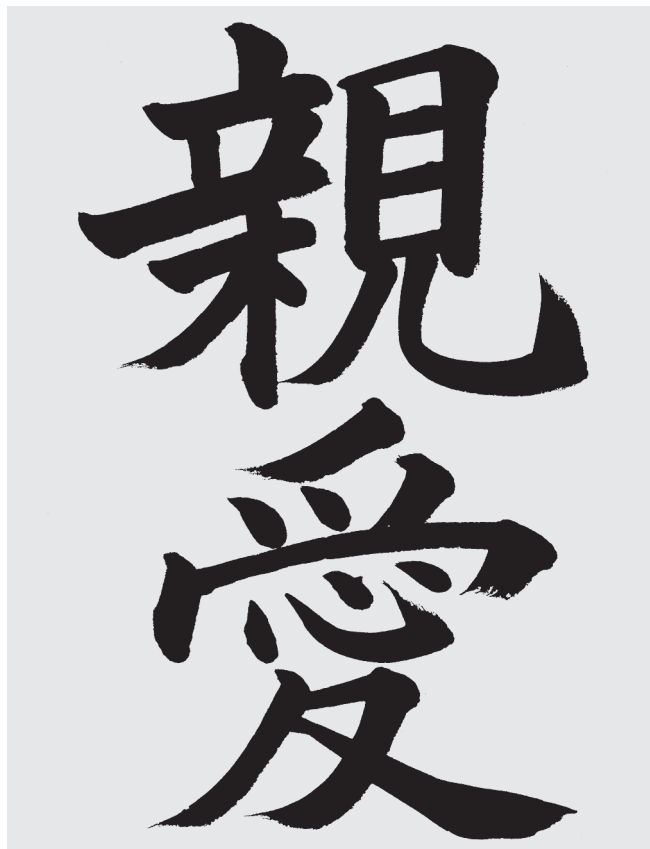
次号予告「近づく春」



□「進」は、佳の筆順に気をつけ、「勇・気」はたて長に字形をとりましょう。

小学 六年

次号予告「旅立ちの朝」

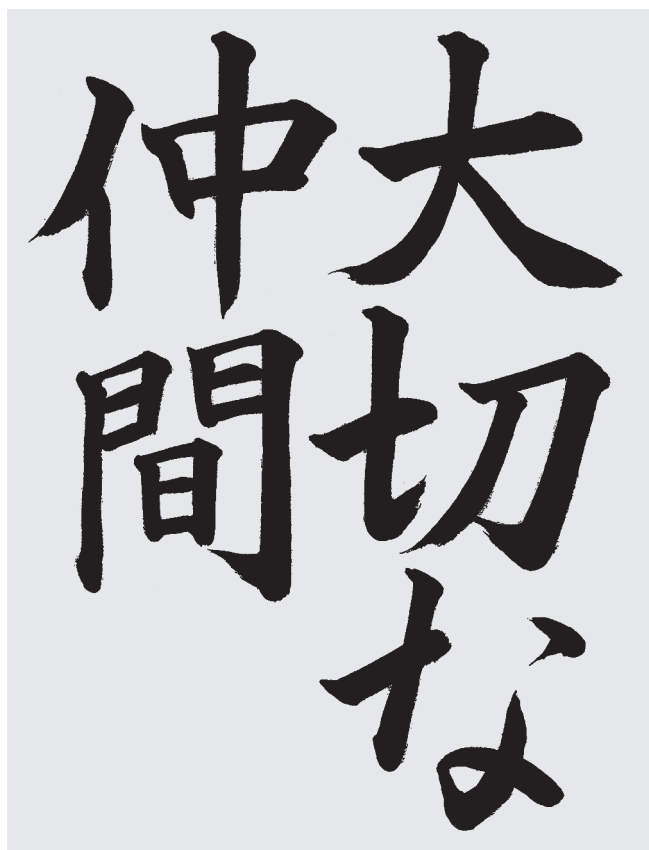


□「親」は五画目の横画を長くし、「愛」は左右の払いを伸びやかに書きましょう。

秋 永 春 霞 先 生 書

中学 一年

次号予告「不言実行」(行書)



□文字の中心や配置に注意して、手本より元気よく伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「変わらぬ友情」(行書)



□筆順の変化と点画の省略を意識しながら、流れのある作品にしよう。

吉 田 成 美 先 生 書

段 級										
氏 名										
を										
ん										
は										
ば										
ん										
に										
お										
か										
み										
な										
れ										
い										
な										

小学一年

段 級										
氏 名										
う										
ち										
お										
に										
は										
そ										
と										
あ										
め										
あ										
は										
い										
う										
へ										
は										

ようねん (※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてよい。但、審査は従来通りです。)

①はねる ②はらう
 ③いちはん なかく かく
 ④きぎ ⑤とめる
 ⑥きぎ ⑦とめる
 ⑧きぎ ⑨とめる
 ⑩きぎ ⑪とめる
 ⑫きぎ ⑬とめる
 ⑭きぎ ⑮とめる
 ⑯きぎ ⑰とめる
 ⑱きぎ ⑲とめる
 ⑳きぎ ㉑とめる
 ㉒きぎ ㉓とめる
 ㉔きぎ ㉕とめる
 ㉖きぎ ㉗とめる
 ㉘きぎ ㉙とめる
 ㉚きぎ ㉛とめる
 ㉜きぎ ㉝とめる
 ㉞きぎ ㉟とめる
 ㊱きぎ ㊲とめる
 ㊳きぎ ㊴とめる
 ㊵きぎ ㊶とめる
 ㊷きぎ ㊸とめる
 ㊹きぎ ㊺とめる
 ㊻きぎ ㊼とめる
 ㊽きぎ ㊾とめる
 ㊿きぎ ㊿とめる

① ななめにうつ

◎立ててよくかくにつける
◎左上にはねる

氏名	段級	
〃〃〃の文章に書ける。		
〃〃〃調「だ」をかける		
意味を知りかける。		
〃〃〃調「を」をかける		

小學三年

「つけない」
 草原 (そうげん) 豆頭 (とうず) (とうず)
 ◎右上にはらう

●のあたりで上の
まじりせよとある

仁 田 田 田

原

段級		氏名	
に	出	て	に
お	う	て	に
あ	ま	り	の
ひ	の	う	を
又	一	は	十
頭			

小学二年

每 每 每 每 每 每

四 三 二 一

野口、この学校では毎年、この	カ、と、この学校では毎年、この	て、また。今年、学習会の先	生を、おんが、す、せん、合、	て決める、と、なり、ました。
氏名	段級			

小学五年

①立ててよ！せんに つける
②きでない

一 門問聞
③とめる ④はねる

一 方
⑤はねる

一 門問聞
⑥きでない

一 取
⑦き出ない

一 + 主考考
⑧右から左へはらう ⑨はねる

氏名	段級	
とらな話の方をなと聞		
へ人はまをとりず、		
かを聞へ人の立場から話		
し方を考へておかし。		

小学四年

[illegible]

く と 糸 終 終 終 一 一 馬 馬 驗 戸 戸 威 威 感

◎点をおとさない
◎左上にはなる

小畠秋聲先生書

小学校生活を終えようとする今、	あなたが何を思いますか。学んだ	こと、体験したこと、出会った人、感	じたこと、考えたこと、六年間に	どんなことがあったでしょう。
氏名	段級			